施工業者様用

Panasonic

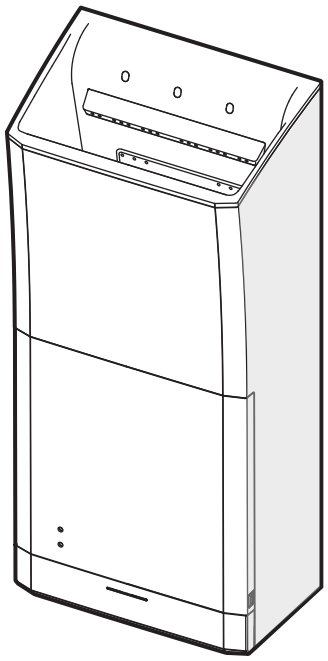
工事説明書

屋内設置形

ハンドドライヤー

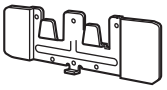
パワードライ（両面吹き出し形・薄型タイプ）

品番
<ヒーター付>
FJ-T10T3-W（ホワイト）
FJ-T10T3-S（シルバー）
<ヒーターなし>
FJ-T10S3-W（ホワイト）



入っているか、確認してください！

■付属品



□壁掛けパネル…… 1個
（本体背面にテープ止めされています）

□ねじ（Φ3.8x20mm）…… 4本
（壁掛けパネル固定用）

□ねじ（Φ5x25mm）…… 1本
（本体固定用）

□取扱説明書 …… 1冊
（必ずお客様にお渡しください）

□工事説明書 …… 1冊

お願い ●付属品あるいは指定の市販品以外は使用しないでください。

お客様への取り扱い説明

工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。

特に「安全上のご注意」（2〜3ページ）は、施工前に必ずお読みください。

・工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには当社では責任を負えません。

もくじ

安全上のご注意 ……2〜3
各部のなまえと寸法 ……4
取り付け工事要領 ……5〜裏表紙
1. 取り付け前の準備をする ……5
2. 本体を取り付ける ……6〜裏表紙
3. 試運転 ……裏表紙

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は、図記号の例です）

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

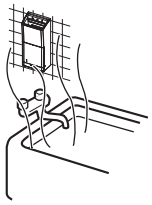
⚠警告

分解禁止

絶対に改造をしない
発火したり、異常動作して、火災や感電の原因になります。

水場使用禁止

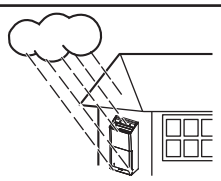
浴室など高温(40℃以上)・多湿・ぬれる場所には取り付けない
漏電して、火災や感電の原因になります。



禁止

引火性ガス、引火性危険物などの雰囲気中には取り付けない
爆発や火災の原因になります。

屋外には取り付けない
漏電して、火災や感電の原因になります。



粉塵の多い場所や腐食性ガスが存在する場所・塩害地域には取り付けない
火災や感電の原因になります。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない(傷つける、加工する、高温部に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)
傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。
●コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

禁止

電源施工時・修理時以外は、端子台カバーを開けない
火災や感電の原因になります。

❗

電源には必ず漏電ブレーカーを取り付ける
故障や漏電のときに感電のおそれがあります。

施工は必ずブレーカーを切ってからおこなう
感電の原因になります。

配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実におこなう
誤った配線工事は、火災や感電の原因になります。
●専用配線工事の場合は、必ず電気工事士の資格者がおこなってください。

定格15A・交流100Vの専用コンセントを単独で使う
他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。

壁掛けパネルのねじやアンカープラグが壁面や壁内部の金属板に接触しないように取り付ける
メタルラス、ワイヤラス、ステンレス板などに接触していると、漏電した場合、火災の原因となります。

施工は説明書に従い、確実におこなう
不備な施工は、火災や感電の原因になります。

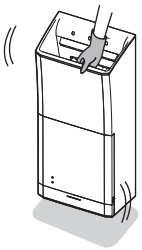
電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。

⚠ 注意

禁止

ノズル部や本体上部を持って本体を持ち運ばない

本体が変形し破損したり、
けがをするおそれがあります。



本体は、十分強度のあるところにしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する

落下により、けがをするおそれがあります。

垂直で凹凸のない壁面に取り付ける

落下により、けがの原因になります。

取り付け作業時には必ず手袋をはめて作業する

はめないとけがの原因になります。

お願い

●次のような場所には取り付けないでください。

故障や動作不良、または寿命が短くなる原因になります。

- 0℃未満になる場所
- 40℃以上になる場所
- 結露する場所
- 乗り物などの振動のある場所
- 日光やスポットライトなどの強い光があたる場所
- 消毒槽のある部屋、プール、浴室
- 油の飛沫や油煙の多い場所
- 直接水がかかる場所
- 腐食性、中性、還元性ガスのある場所

手の水がかかるおそれがあります。

- 食材や食器などの近く

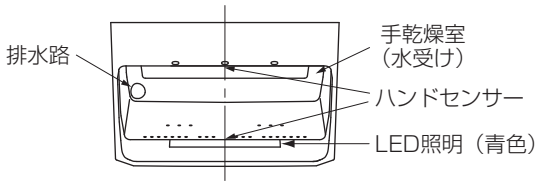
●ラジオなどをこの製品と同じコンセントに接続したり、近づけたりしないでください。

（ラジオなどに雑音が入ることがあります）
（影響される距離は電波の受信状態により異なります）

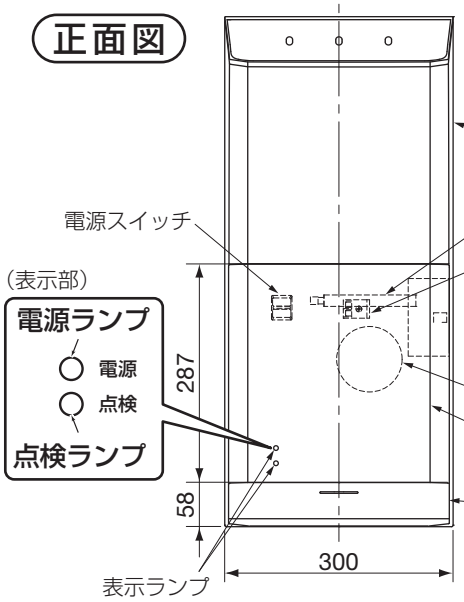
各部のなまえと寸法（図はFJ-T10T3-W、FJ-T10T3-Sを示します。FJ-T10S3-Wにはヒーター・ヒータースイッチはありません。）

単位（mm）
製品質量：7.7kg

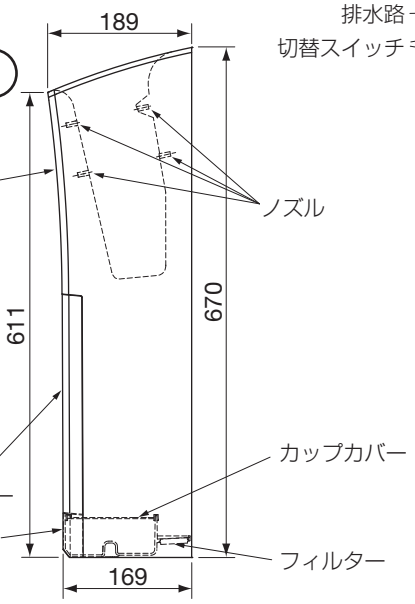
上面図



正面図

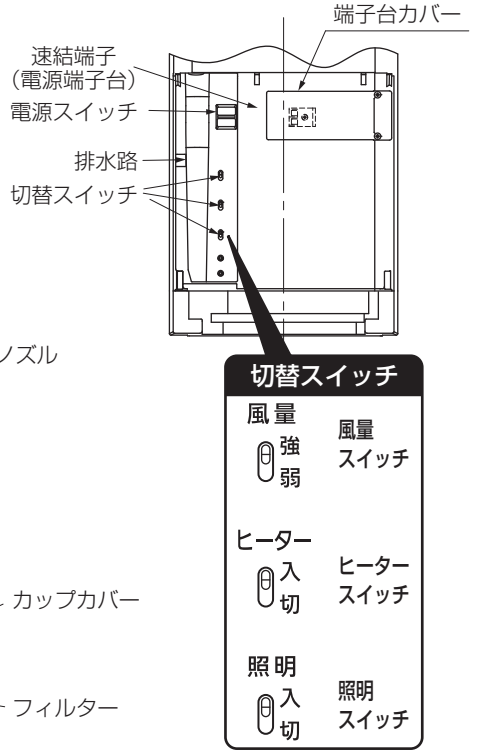


側面図

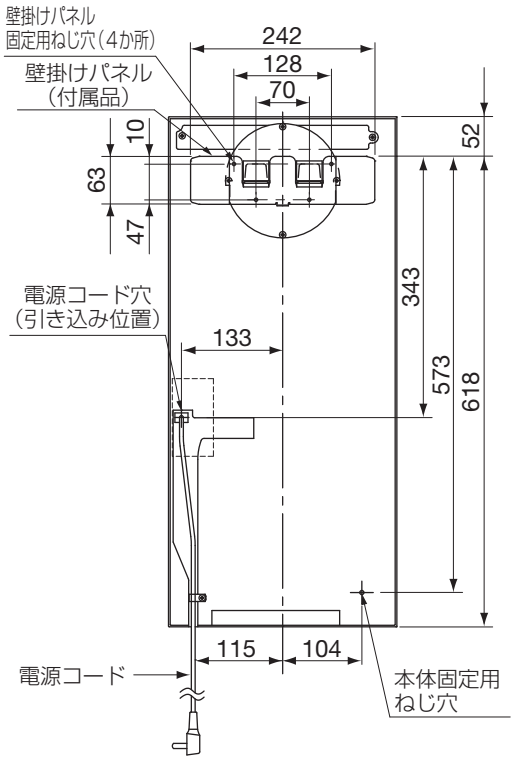


操作部

■フロントケースカバーを取りはずした状態



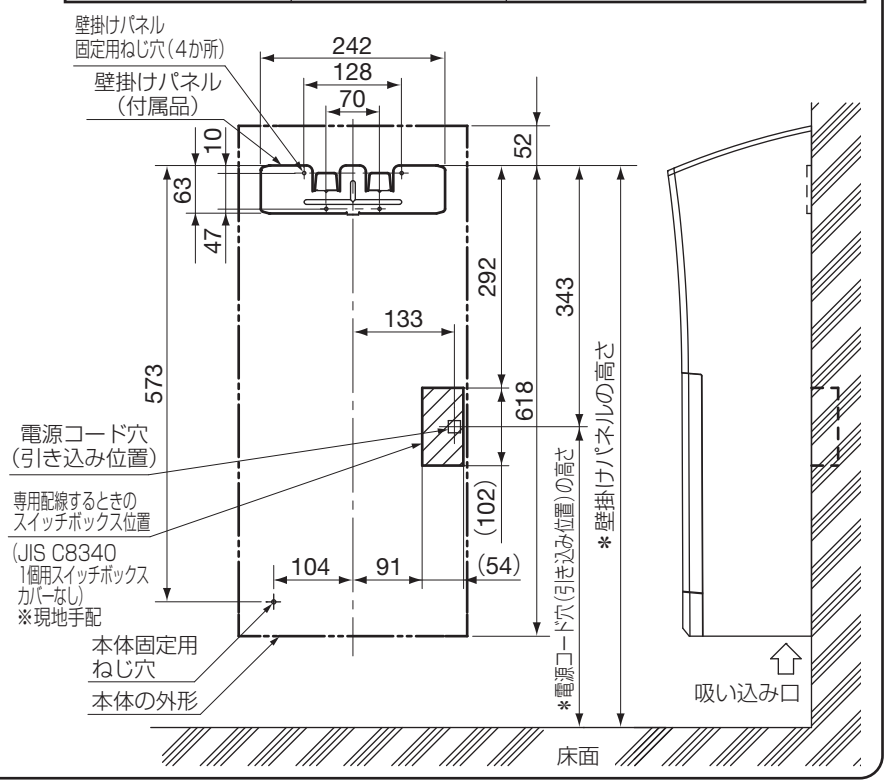
背面図



壁掛けパネル取り付け面詳細図（正面から見たとき）

＊取り付け高さ（推奨値）

	＊壁掛けパネルの高さ	＊電源コード穴（引き込み位置）の高さ
男性用	875mm	532mm
女性用・男女共用	855mm	512mm



取り付け工事要領

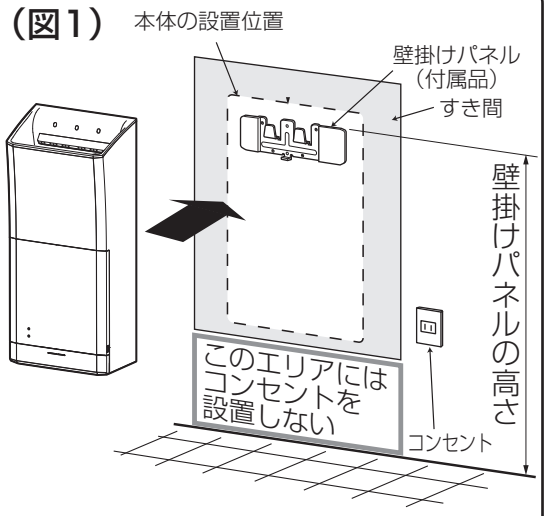
1. 取り付け前の準備をする

取り付ける場所を決める（図1）

・取り付け場所は、十分強度がある平らで垂直な壁面としてください。壁面に凹凸がある場合は、吸い込み口の妨げや製品の傾き、すき間の原因になります。
・取り付け位置は、下表を参考に決定してください。
●壁掛けパネルの取り付け高さ寸法（推奨値）
（床面から壁掛けパネル上端までの寸法）

男性用	875mm
女性用・男女共用	855mm

（図1）

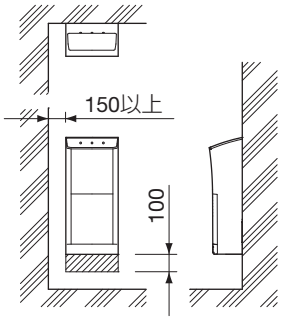


お願い

1.取り付けは「安全上のご注意」（☞2～3ページ）をお守りのうえ、壁や障害物から十分距離を離して取り付けてください。（下図参照）
2.正面、下方は電源スイッチの操作や、お手入れをするうえで障害になるものがないようにしてください。
3.人がぶつかりやすい場所やドアなどがあたる場所には取り付けないでください。
4.コンセントを使う場合、水などのかからない場所にコンセントを設けてください。
（コンセントを本体下方に設けると、水受けカップにたまった水を捨てるときなどにこぼれた水が、コンセントにかかるおそれがあります）
5.手を激しく動かすなどの乾かしかたや、急に水受けカップを引き抜くなどの水受けカップの水の捨てかたによっては、水が周囲に飛び散ることがあります。
壁材や床材は、耐水性のある材料をご使用ください。
6.設置環境によっては、製品の近くの壁面や鏡に水滴や気流による汚れが付着することがあります。

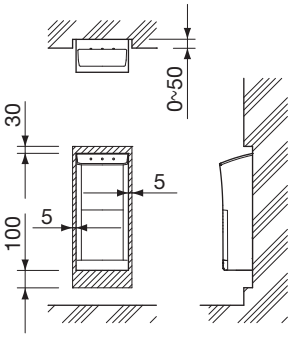
■取り付け位置図（単位：mm）

① 壁取り付けの場合



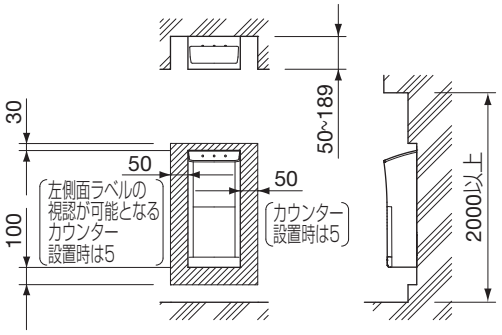
●製品底面から下方100mm以内（▨）には障害物がないように空間を設けてください。
（吸い込み口確保のために必要な空間）
●側方の壁が近い場合は、使用時、左側面ラベルの視認やひじが壁面にあたることを避けるため、側方150mm以上の空間を設けてください。

② 壁・カウンターに埋め込む場合A



●製品底面から下方100mm以内（▨）には障害物がないように空間を設けてください。
（吸い込み口確保のために必要な空間）
●製品から側方5mm以内（▨）、上方30mm以内（▨）には、障害物がないように空間を設けてください。
（本体の脱着のために必要な空間）

③ 壁・カウンターに埋め込む場合B



●製品底面から下方100mm以内（▨）には障害物がないように空間を設けてください。
（吸い込み口確保のために必要な空間）
●製品から側方50mm以内（▨）、上方30mm以内（▨）には、障害物がないように空間を設けてください。
（本体の脱着のために必要な空間）
●壁に埋め込む場合は、使用時、頭が壁面にあたることを避けるため、床面より2000mm以上の空間を設けてください。
●壁に埋め込む場合は、使用時、ひじが壁面にあたることを避けるため、側方50mm以上の空間を設けてください。

取り付け工事要領（続き）

2. 本体を取り付ける

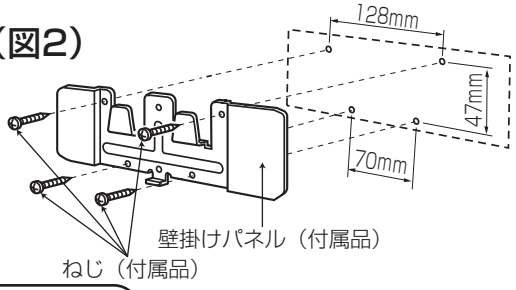
本製品は「コンセントを使う場合」と「専用配線工事をする場合」の施工ができます。

① 壁掛けパネルを付属のねじ(φ3.8×20mm 4本)で取り付ける(図2)

●コンクリート壁に取り付ける場合は、アンカープラグ（市販品）を使用して取り付けてください。
（アンカープラグは市販のM4ねじ用のものをお使いください）
（アンカープラグに専用ねじが付属しているときは、そのねじをお使いください）

●コンクリート壁以外に取り付ける場合は、補強をおこなったうえで取り付けてください。

(図2)



お願い

●壁掛けパネルは水平に取り付けてください。
傾いている場合、ドレン水が確実に排水できません。

コンセントを使う場合

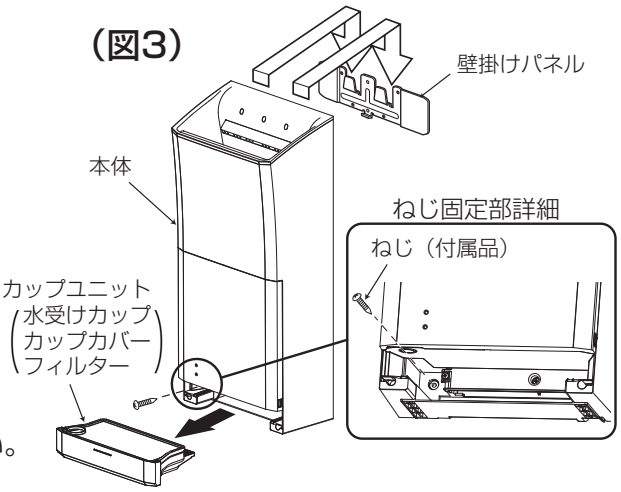
② 本体を壁掛けパネルに取り付ける（図3）

（1）カップユニットを取りはずす。
（2）本体を壁掛けパネルに取り付ける。
（3）付属のねじ（φ5×25mm　1本）で本体を固定する。ねじの位置は「壁掛けパネル取り付け面詳細図」（☞4ページ）の本体固定用ねじ穴をご参照ください。
（4）カップユニットを本体に取り付ける。

●コンクリート壁に取り付ける場合は、アンカープラグ（市販品）を使用して取り付けてください。
（アンカープラグは市販のM5ねじ用のものをお使いください）
（アンカープラグに専用ねじが付属しているときは、そのねじをお使いください）

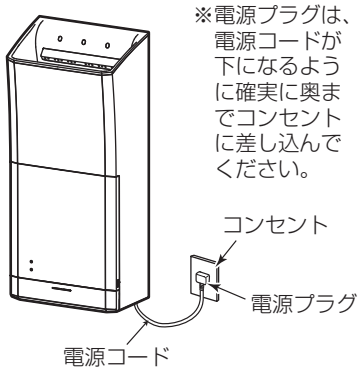
●コンクリート壁以外に取り付ける場合は、補強をおこなったうえで取り付けてください。

(図3)



③ 電源プラグを専用コンセント（定格15A・交流100V)に接続する（図4）

(図4)



専用配線工事をする場合

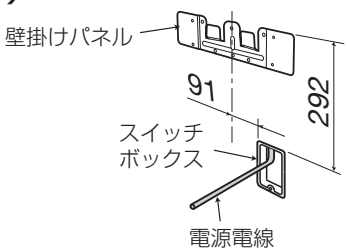
② スイッチボックスを埋め込み、電源電線を配線する（図5）

壁掛けパネル取り付け位置との距離を決めて、市販のスイッチボックス（JIS C8340：1個用スイッチボックスカバーなし）を埋め込み、電源電線を配線する。スイッチボックスの位置は「壁掛けパネル取り付け面詳細図」（☞4ページ）のスイッチボックス位置をご参照ください。

お願い

●電源電線は、2心VVFケーブルφ1.6またはφ2を使用してください。

(図5)

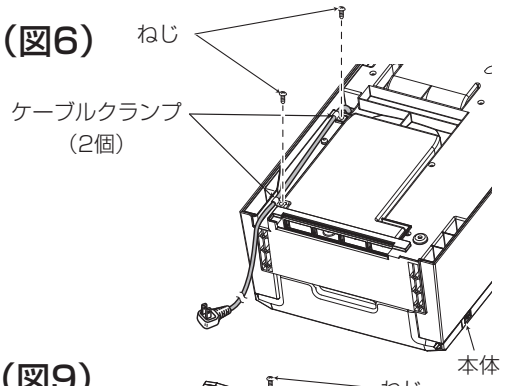


（製品取り付け前のVVFケーブルは壁面より約500mm出しておくようにしてください。
（速結端子への接続時、適正な長さに切断）

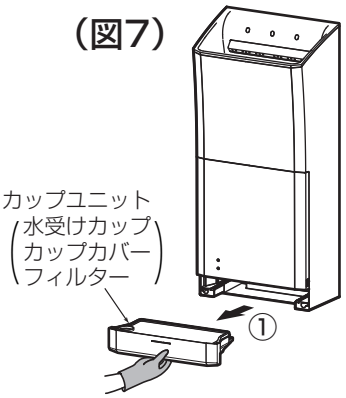
③ 本体の電源コードを取りはずす

（1）本体背面のケーブルクランプ（2個）を取りはずす。（図6）
（取りはずしたねじは保管しておいてください）
（2）カップユニットを手前に引き、取りはずす。（図7）
（3）フロントケースカバーのつまみ（2か所）を同時に押したまま、フロントケースカバーを手前に引いて取りはずす。（図8）
（4）端子台カバーを取りはずす。（ねじ2本）（図9）

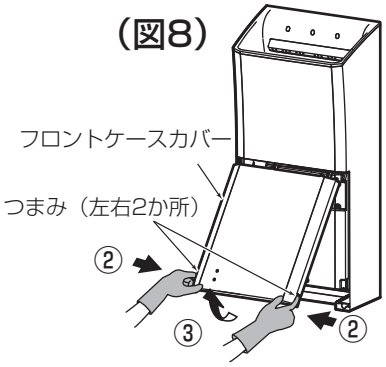
（図6）



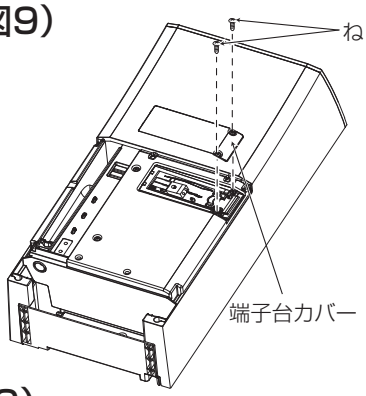
（図7）



（図8）

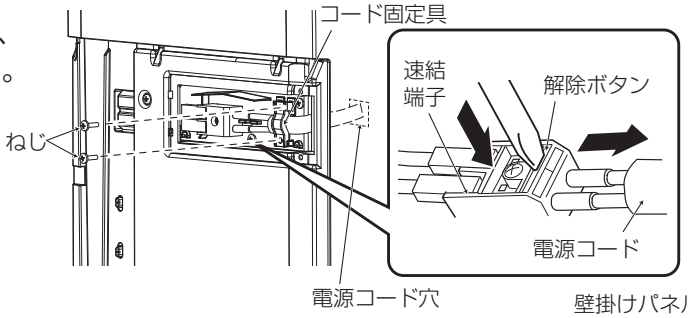


（図9）



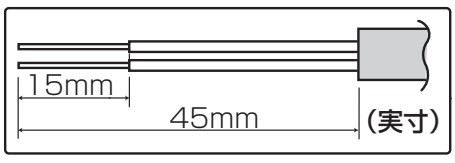
（5）コード固定具のねじ（2本）を取りはずし、コード固定具から電源コードを取りはずす。その後、速結端子の解除ボタンをマイナスドライバーで押しながら電源コードを抜き、本体背面の電源コード穴より電源コードを引き出す。（図10）

（図10）



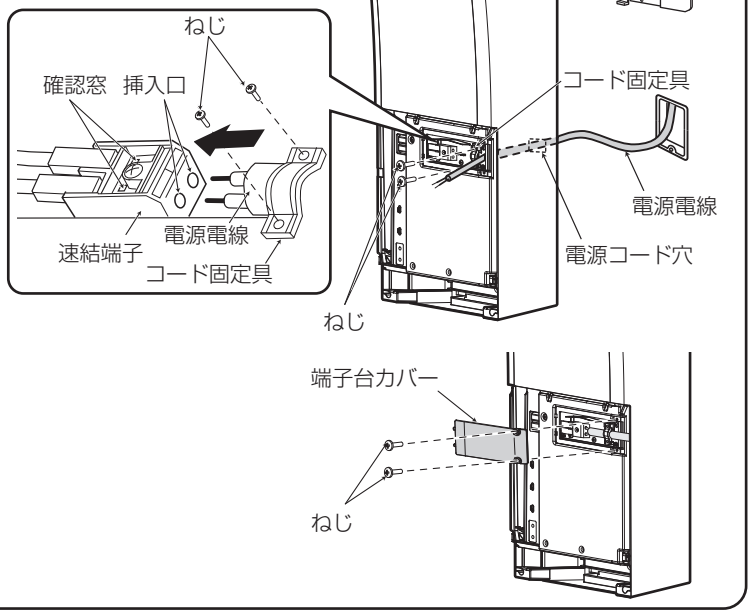
④ 電源電線を接続し、本体を壁掛けパネルに取り付ける（図11）（図12）

(1) 電源電線を本体背面の電源コード穴より引き込みながら、本体を壁掛けパネルに取り付ける。
(2) 電源電線を適正な長さに切断し、先端の被覆を皮むきする。



(3) 速結端子に電源電線の心線がとまるまで挿入口へ差し込み、確実に電線が挿入されていることを確認窓で確かめる。
(4) 電源電線をコード固定具で本体にねじ（2本）で確実に固定する。
(5) 端子台カバーをはずしたねじ（2本）で固定する。
(6) フロントケースカバーを取り付ける。

（図11）



取り付け工事要領（続き）

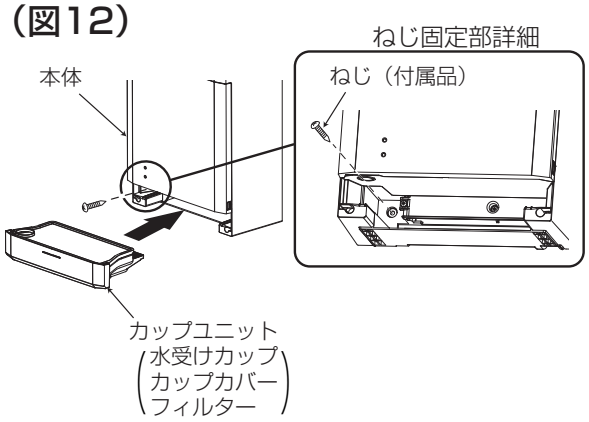
(7)付属のねじ（φ5×25mm　1本）で本体を固定する。ねじの位置は「壁掛けパネル取り付け面詳細図」（☞4ページ）の本体固定用ねじ穴をご参照ください。

(8)カップユニットを本体に取り付ける。

●コンクリート壁に取り付ける場合は、アンカープラグ（市販品）を使用して取り付けてください。
（アンカープラグは市販のM5ねじ用のものをお使いください）
（アンカープラグに専用ねじが付属しているときは、そのねじをお使いください）

●コンクリート壁以外に取り付ける場合は、補強をおこなったうえで取り付けてください。

（図12）



3. 試運転

①次の確認をしてください。

（1）電源スイッチを押して「入」にすると、電源ランプが点灯し、LED照明（青色）が点灯することを確認する。

（2）手乾燥室に手を入れると運転し、手を抜くと停止することを確認する。

（3）風量スイッチ、ヒータースイッチ、照明スイッチを切り替え、風量が強弱に変化、温風の温度が変化、照明が入切することを確認する。
通常は風量「強」、ヒーター「入」、照明「入」　でご使用ください。

※温度の低い雰囲気中や停止時間の長い場合、ヒーター「入」の運転であっても温風が冷たく感じることがあります。

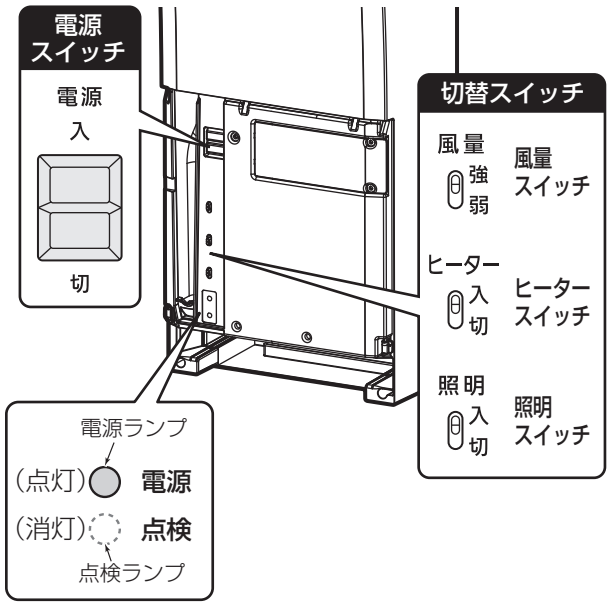
※FJ-T10S3-Wはヒーターなしのため、ヒータースイッチはありません。

② 試運転終了後

（1）電源スイッチを「切」にする。

（2）電源プラグをコンセントから抜く。
または漏電ブレーカーを「切」にする。

■フロントケースカバーを取りはずした状態
（図はFJ-T10T3-W、FJ-T10T3-Sを示します。
FJ-T10S3-Wにはヒータースイッチはありません。）



※いたずらや誤感知による連続運転防止として、30秒間連続して使用すると自動的に運転を停止します。（運転停止前に、手乾燥室内のLED照明（青色）が速く点滅します）続けてご使用になるときは、一度手を抜いてから、再度手を入れてください。

※結線図や点検ランプ表示の内容をご確認したい場合は、フロントケースカバー内側のラベルをご覧ください。

パナソニック株式会社
パナソニック エコシステムズ株式会社
〒486-8522　愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番　TEL(0568)81-1511
©Panasonic Ecology Systems Co., Ltd. 2012
T10T38510-P0412-0